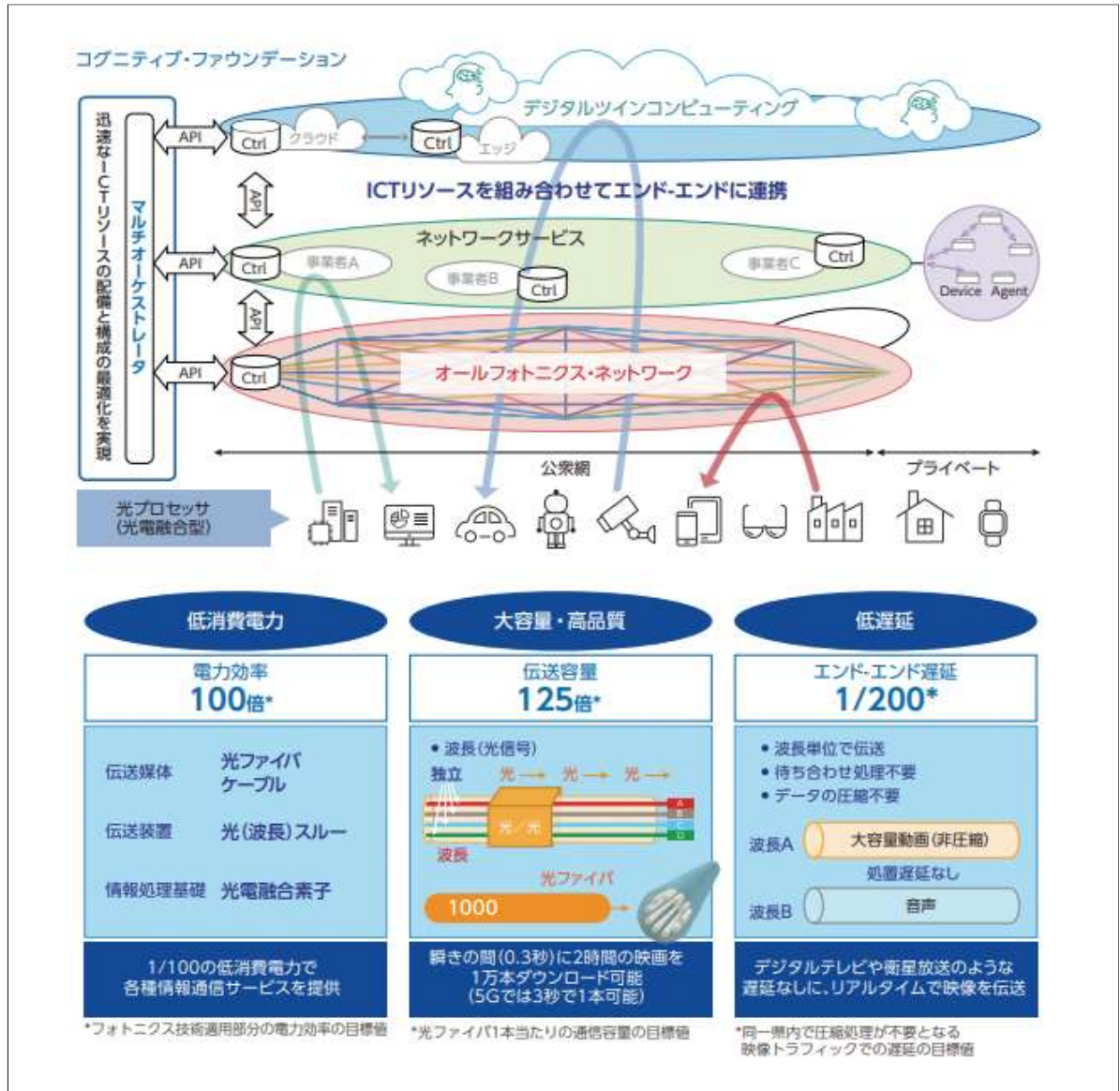


図表5-2-3 ▶IOWN構想



出所：NTT「リアルレポート 2022」

なお、docomo business RINKは国際的にも高い評価を得ており、2025年8月、NTTドコモビジネスは同サービスを対象に、Gartner社「Competitive Landscape: NaaS Communications Service Providers」において、世界の主要NaaS(Network as a Service)通信事業者の一社として紹介された。さらに10月には、docomo business RINKの革新性が評価され、同社「Eye on Innovation Awards」の「NaaS with built-in security - docomo business RINK」において、CSP(Communication Service Provider)分野のAPACエリアで、日本企業として初めてWinnerに選出された。これらの評価は、CFが志向する自律的かつ統合的なネットワーク運用の高度化が、商用サービスレベルで具体化しつつあることを示している。

## (2) 技術開発ロードマップ

### 技術開発ロードマップの発表

NTTは2020年4月、2030年のIOWN構想の実現に向けた技術開発ロードマップを策定した。この計画は、2020年1月に設立された国際団体「IOWN Global Forum」の技術的ビジョンを踏まえ、パートナー企業との連携のもとで推進されている。

NTTは主に次の4分野に注力し、各技術の段階的な開発を進めている(図表5-2-4)。

#### ① 大容量・低遅延のデータ通信方式の開発

光技術を活用したAPNの特性を最大限に活かした高速な通信方式を2021年に開発。加えて、通信量の増加に備